

調査件名

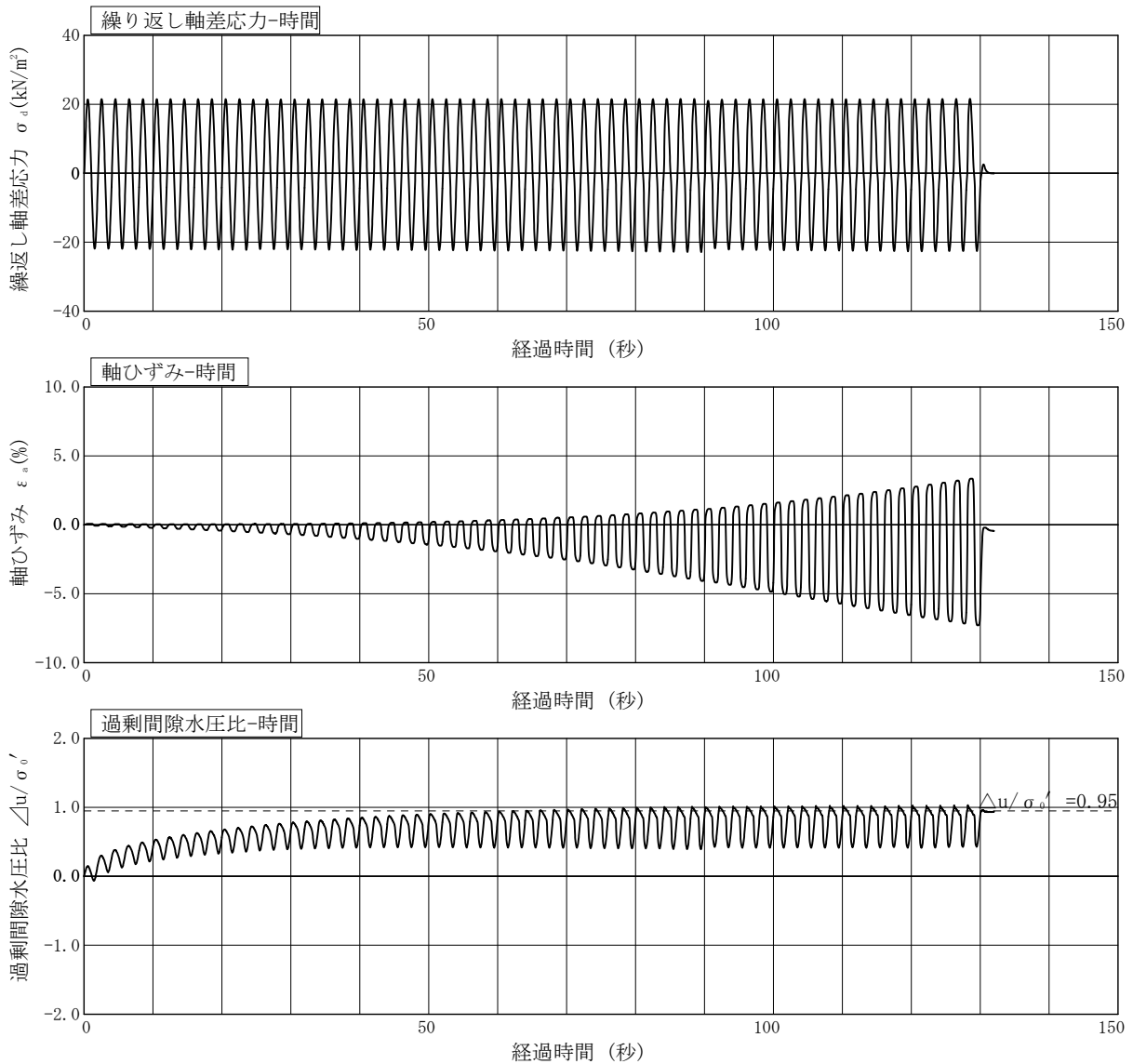
試験年月日

試料番号 (深さ) S1-1 (2.00~2.85m)

試験者

供試体 No.	3	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_a kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c	
試験条件						
背圧 u_b kN/m ²	200.0	$DA \leq 1\%^{1)}$	0.966	22.0	/	
圧密応力 σ'_c kN/m ²	44.0	$DA = 1\%$	0.966	21.9		18
有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	44.0	2%	0.960	22.0		28
載荷波形	正弦波	5%	0.943	22.2	44	
載荷周波数 f Hz	0.500	10%	0.953	22.1	62	
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_c$	0.250	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}		33		

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
- 2) 繰返し軸差応力, 軸ひずみ, 過剰間隙水圧比または, 軸荷重, 軸変位, 過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。

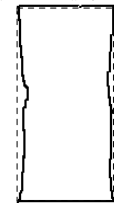
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

供試体初期状態



暗灰色 礫まじり粘土質砂

繰返し載荷後



固結シルト塊混入

調査件名

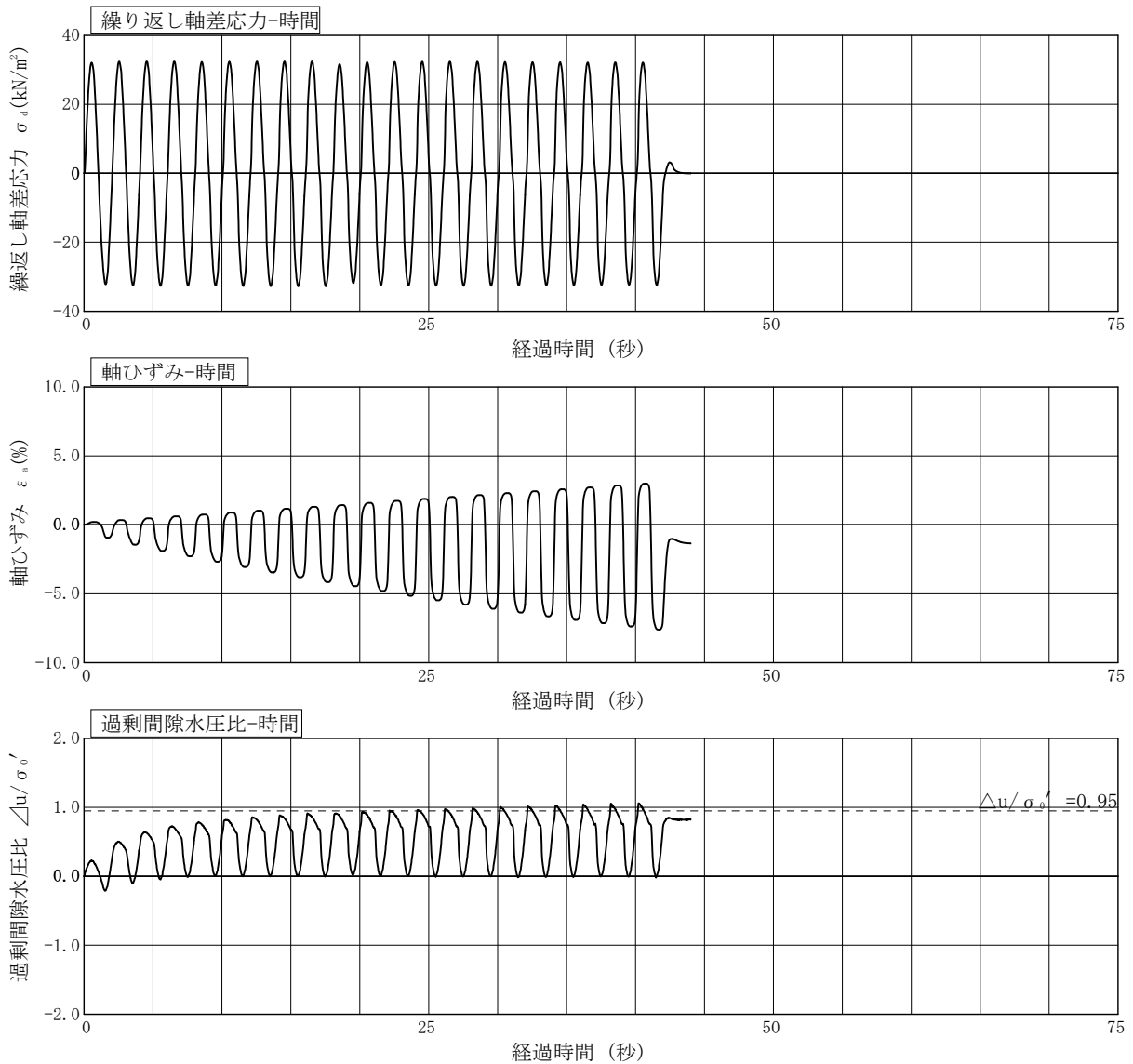
試験年月日

試料番号 (深さ) S1-1 (2.00~2.85m)

試験者

供試体 No.	4	軸ひずみの両振幅	圧縮・伸張荷重の比 P_c/P_E	繰返し軸差応力 σ_a kN/m ²	繰返し載荷回数 N_c	
試験条件						
背圧 u_b kN/m ²	200.0	$DA \leq 1\%^{1)}$	0.997	32.2	/	
圧密応力 σ'_c kN/m ²	44.0	$DA = 1\%$	0.997	32.2		0.9
有効拘束圧 $\sigma'_{o'}$ kN/m ²	44.0	2%	0.993	32.6		2.5
載荷波形	正弦波	5%	0.989	32.6	8.0	
載荷周波数 f Hz	0.500	10%	0.993	32.3	19	
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_c$	0.366	過剰間隙水圧比95%のときの繰返し載荷回数 N_{95}		12		

波形の連続記録²⁾



特記事項

- 1) $DA = 1\%$ までの平均値
- 2) 繰返し軸差応力, 軸ひずみ, 過剰間隙水圧比または, 軸荷重, 軸変位, 過剰間隙水圧のいずれかを図示する。または別途添付してよい。必要に応じてセル圧の連続記録も添える。

[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

供試体初期状態



暗灰色 礫まじり粘土質砂

繰返し載荷後



固結シルト塊混入

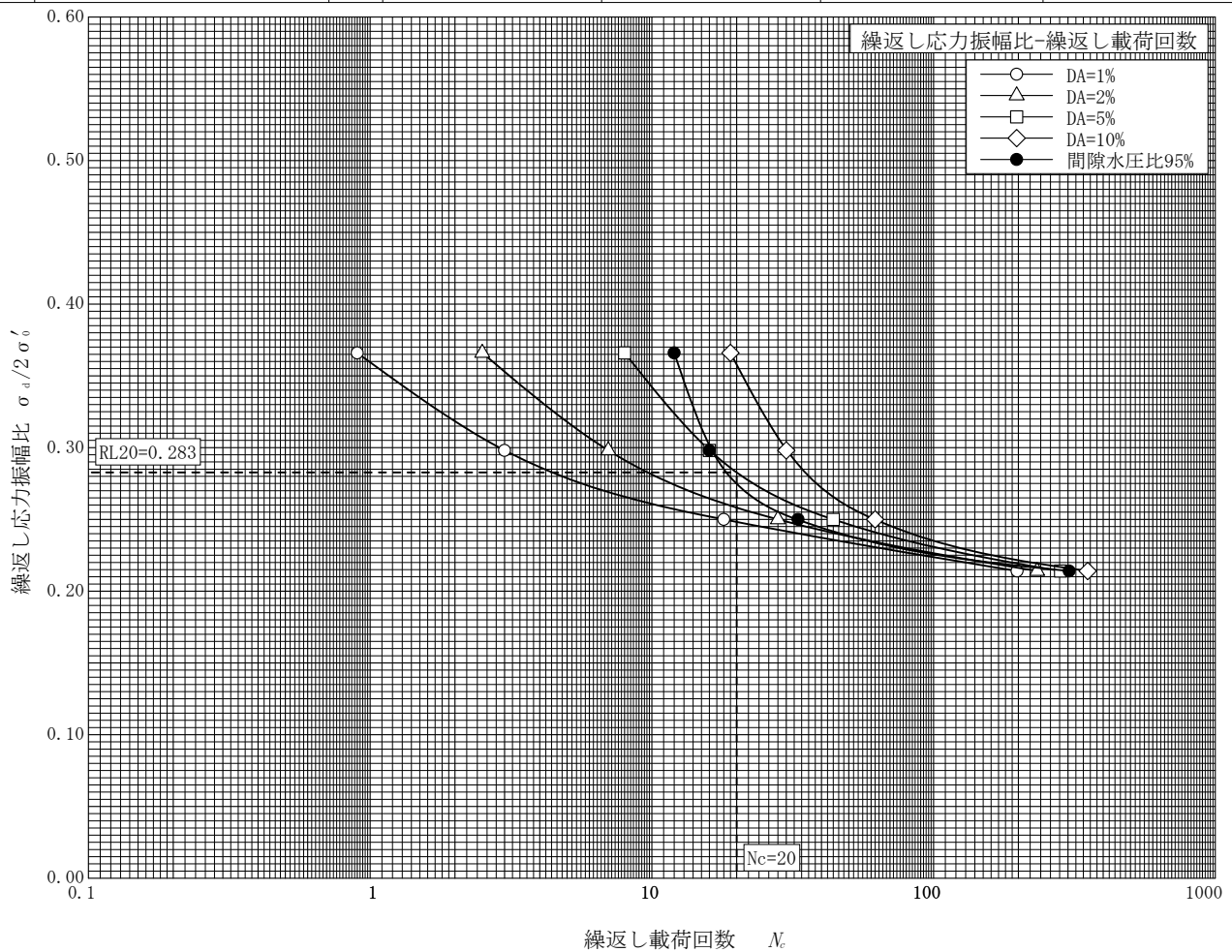
調査件名

試験年月日

試料番号 (深さ) S1-1 (2.00~2.85m)

試験者

土質名称			礫まじり粘土質砂	試験装置		荷重計容量 N (位置)	2000(セルの内)
試験条件	背圧 u_v	kN/m ²	200.0	試験装置	荷重計容量 N (位置)		無
	圧密応力 σ'_c	kN/m ²	44.0		載荷ピストン摩擦補正		無
	有効拘束圧 σ'_o	kN/m ²	44.0		間隙水圧測定経路体積変化 cm ³ /kN/m ²		1.0E-6
載荷波形	正弦波		試験装置	ゴムスリーブ	材質		ラテックス
	載荷周波数 f	Hz			0.500	厚さ mm	
供試体 No.	1		2	3	4	補正無	
乾燥密度 ρ_{dc}	g/cm ³		1.489	1.405	1.440	1.509	
間隙比 e_c			0.822	0.931	0.884	0.798	
相対密度 D_{rc}	%						
繰返し軸差応力 σ_a	kN/m ²		26.2	18.8	22.0	32.2	
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_o$			0.298	0.214	0.250	0.366	
繰返し載荷回数	軸ひずみの両振幅	DA = 1%	○	3.0	198	18	0.9
		2%	△	7.0	233	28	2.5
		5%	□	16	282	44	8.0
		10%	◇	30	352	62	19
	過剰間隙水圧比 95% N_{95}	●	16	303	33	12	



特記事項